

# 第4学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時  
場 所 4年〇組教室  
授業者 〇 〇 〇 〇

## 1 主題名 みんなが気持ちよく生活するために「C-(11)規則の尊重」

### 2 ねらいと教材

#### (1) ねらい

集団生活をする上で、相手や周りの人の立場に立って行動しようとする道徳的判断力を育てる。

#### (2) 教材名

「雨のバスていりゅう所で」(東京書籍 新しい道徳4)

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領解説特別の教科道徳、内容項目C-(11)「規則の尊重」の「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ることを受けている。

児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。身近な集団におけるよりよい人間関係づくりや人間関係における規範意識について考えさせるためにも、重要な内容項目である。

中学年の段階においては、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりで考えることは少ない。このような時期だからこそ、集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ちよりよい人間関係を築くことの大切さや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりの必要性を十分に考させていきたい。

そこで、自分の思いのままに行動するのではなく、集団や社会のために自分が何をすればよいのか、また、自分に何ができるのかを考え、約束やきまりを守って行動しようとする判断力を育てることが大切だと考え、本主題を設定した。

#### (2) 児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童は、「日曜日のバーベキュー」の学習で一般的なきまりの意義やよさについて理解し、きまりを守ることにについて学習している。しかし、約束や社会のきまりを守ることは大切だと分かっているが、実生活においては自分の都合で行動したり、自分勝手な解釈で生活してしまったりする姿が見られる。約束や社会のきまりを守ろうとする児童もいるが、なぜ約束や社会のきまりを守って生活することが大切なのかを理解しているとは言えない。社会生活においては、きまりだから守るということだけでなく、自分で状況を判断し、相手や周りの人の立場に立って、守らなければならない約束やきまりを考えていく必要がある。そこで、本時の学習では、集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立って行動しようとする道徳的判断力を育てていきたい。5年生で扱う「社会生活を送る上で必要であるきまりや、法律などを進んで守り従うという遵法の精神をもつこと」につながる学習である。

### (3) 使用する教材の特質

本教材は、主人公のよし子が雨の日のバス停留所での並び方をめぐって、自分本位な行為を振り返り、どう行動をすればよかったのかを考えるという教材である。

よし子と母が一緒におばさんの家に出かける日は、あいにくの雨となってしまった。バス停留所では、バスに乗る人達がたばこ屋の軒下で雨宿りをしながら待っていた。そこでは、早く来た順に並んでおり、よし子たちもその中に入ってバスが来るのを待っていた。バスが来るのが見え、よし子は雨の中を走り、バス停留所の先頭に並ぶ。バスに乗ろうとしたとき、母に自分が並んでいたところまで連れ戻されてしまう。バスの中では、いつもは優しく話し掛けてくれる母が、知らぬふりをして窓の外を見つめており、よし子は自分のしたことを考え始めるという内容である。児童にとって、バス停留所という日常生活との関連が薄い場面が中心となるため、展開場面で丁寧に押さえる必要がある。

相手や周りの人の立場に立って考えることで、守らなければならない約束やきまりについて考えさせることができる教材であると言える。

### (4) 指導観

本時の指導に当たっては、導入場面で、同じ内容項目である「日曜日のバーベキュー」の授業で学習した「社会のきまりは何のためにあるのか」について振り返り、きまりの意義やきまりを守ることのよさについて確認し、本時の課題へとつなげていく。展開場面では、順番を守らないという日常生活で起こりうるよし子の行動や気持ちについて考えさせる中で、順番を守らないことは自分本位な行為であり、周りの人に嫌な思いをさせてしまうことに気付かせたい。バスに乗り込もうとしたときには、なぜ母に連れ戻されたのか分からず、不満を抱えているよし子の気持ちについて押さえる。その後、中心場面として知らぬふりをしている母の横顔を見ながら、よし子が気付いたことについて考えていく。終末場面では、みんなが気持ちよく生活するためには、守るべき約束やきまりがあることや、約束やきまりを守るよさについて考えさせていく。

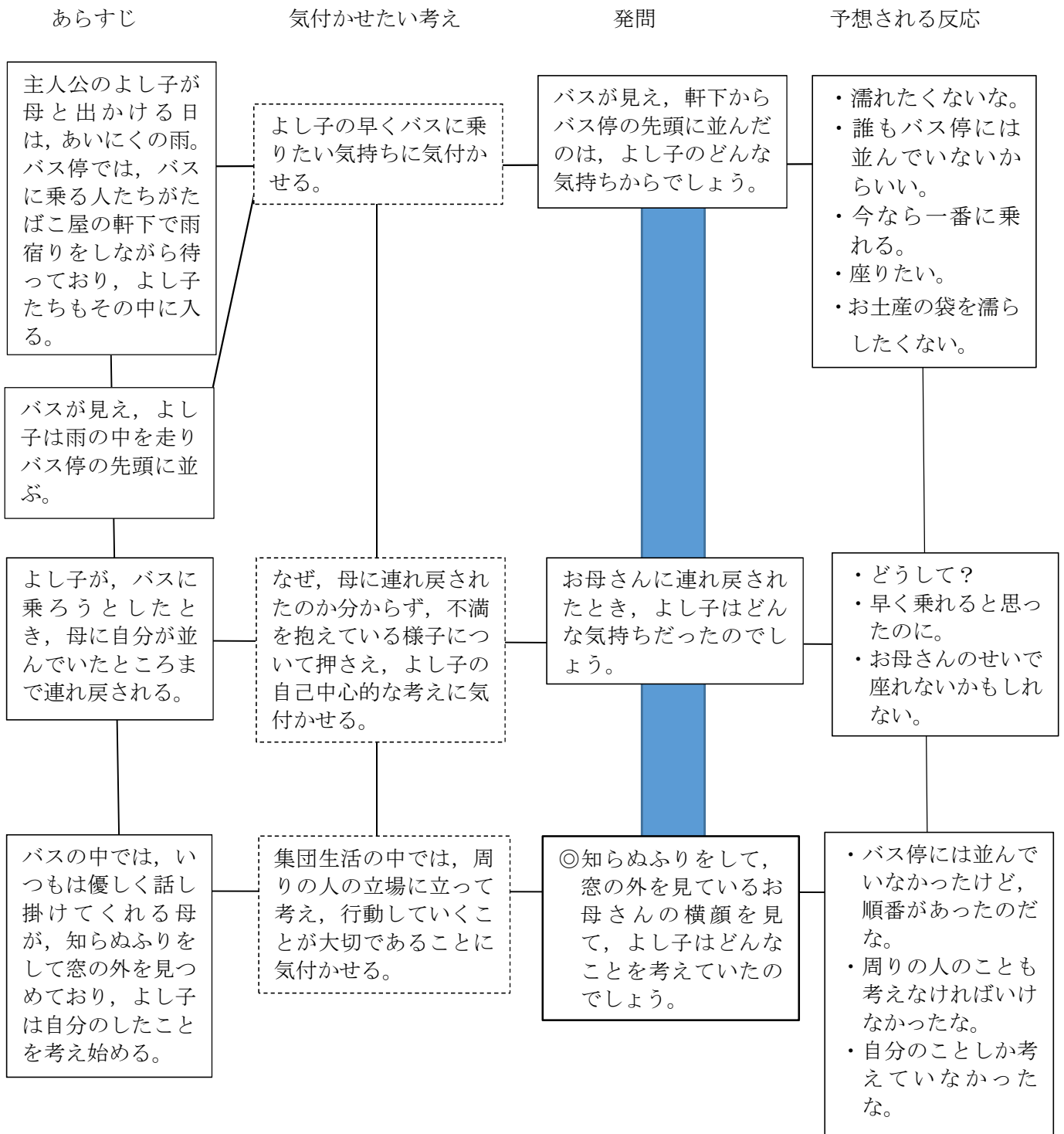
児童の学習状況を見取るために、板書の記録とワークシートを活用する。板書の記録は、児童の発言や思考の流れが分かる構造にし、授業後に写真を撮って残しておく。また、発言した児童の名前を写真に書き込んでおくことで、ワークシートでは見取ることが難しい児童の考えを見取る。ワークシートは、授業を通して、周りの人の立場に立って、約束やきまりを守ることの大切さについて自分との関わりで考えることができたか、今後の生活にどう生かしていきたいかなど考えの変化や深まりが見られたかを見取る。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。 (一斉)</p> <p>2 課題をつかむ。 (一斉)</p>	<p>○「日曜日のバーベキュー」で勉強したことを振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりは、気持ちよく生活するためにありました。</li> <li>・みんなのために守ることを勉強しました。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>同じ内容項目の授業で学習したことを振り返り、本時の課題に対して問題意識を持たせる。(問)</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>みんなが気持ちよく生活するとはどういうことか考えよう。</p> </div>			
展開 30分	<p>3 範読を聞き、話の内容を理解する。 (一斉)</p> <p>4 バスを待っているときのよし子の心情を考える。(一斉)</p> <p>5 母に連れ戻されたときのよし子の心情を考える。(一斉)</p>	<p>○バスが見え、軒下からバス停の先頭に並んだのは、よし子のどんな気持ちからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濡れたくないな。</li> <li>・誰もバス停には並んでいない。</li> <li>・今なら一番に乗れる。</li> <li>・座りたい。</li> <li>・お土産の袋を濡らしたくない。</li> </ul> <p>○お母さんに連れ戻されたとき、よし子はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして？</li> <li>・早く乗れると思ったのに。</li> <li>・お母さんのせいで座れないかもしれない。</li> </ul> <p>●軒下で並んでいた人たちは、よし子を見て、どんなことを思っていたでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よし子の気持ち(母の横顔を見ながら考える場面)を考えながら聞かせる。</li> <li>・バス停留所には人が並んでいないこと、雨宿りをしている人たちは、早く来た順に並んでいることについて押さえる。</li> <li>・よし子の早くバスに乗りたい気持ちに気付かせる。</li> <li>・なぜ母に連れ戻されたのか分からず、不満を抱えている様子について押さえ、よし子の自己中心的な考えに気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>軒下に並んでいた人の立場から、よし子の行動についてどう思うかを多面的・多角的に考えさせる。(多)</p> </div>

展開	<p>6 いつもと違う母の横顔を見ながら、よし子が考え始めたことについて話し合う。(ペア→一斉)</p> <p>7 みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考える。(一斉)</p>	<p>◎知らぬふりをして、窓の外を見ているお母さんの横顔を見て、よし子はどんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さん、怒っているのかな。</li> <li>・どうして怒っているのかな</li> <li>・何か間違っただけをしてしまったのかな。</li> <li>・先頭に並んだのがいけなかったのかな。</li> <li>・バス停には並んでいなかったけど、順番があったのかな。</li> <li>・周りの人のことも考えなければいけなかったな。</li> <li>・自分のことしか考えていなかったな。</li> </ul> <p>○きまりではなくても、自分で考えて行動してよかったと思ったことはありますか。または、してもらってうれしかったなと思ったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急いでいても、順番を守った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己中心的な行動だったことに気付くよし子の心情を捉えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よし子が母の横顔を見て考えたことについて、相手や周りの人の立場に立って行動することの大切さや必要性について、自分の生活経験と照らし合わせて考えさせる。(自)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt; よし子が考えたことを通して、相手や周りの人の立場に立って行動することの大切さや必要性について考えようとしていたか。 (自)【発言・観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活の中では、周りの人の立場に立って考え、行動していくことが大切であることに気付かせる。</li> </ul>
終末  10分	<p>8 自己の生き方について考える。(個人)</p>	<p>○この授業を通して、みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて、考えたことや感じたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周りの人のことまで考えて行動することが大切だと分かった。</li> <li>・自分がしたことで相手がどう思うのかをしっかりと考えていきたい。</li> <li>・自分のことだけでなく、みんなのことを考えることが大切だと思った。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせる。(自)(生)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt; みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考え、これからの生活に生かそうとしていたか。(自)(生) 【ワークシート・発言】</p> </div>

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

【評価】

＜児童の評価＞

- ・よし子が考えたことを通して、相手や周りの人の立場に立って行動することの大切や必要性について考えようとしていたか。 (自)【発言】
- ・みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて考え、これからの生活に生かそうとしていたか。 (自)(生)【ワークシート・発言】

＜教師側の授業評価＞

- ・中心的な発問のよし子が考えたことを通して、相手や周りの人の立場に立って行動することの大切や必要性について自分との関わりで考えさせることができたか。 (自)【発言・観察】
- ・みんなが気持ちよく生活するために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方についての考えを深めさせることができたか。(自)(生)【ワークシート・発言・観察】

【板書】

○月○日 第○回道とく

みんなのことを考える  
まわりをよく見て行動する  
自分のだけでなく、相手のことを思って行動する

きまりではなくても  
まわりの人を考えなければいけなかったな  
自分ことしか考えていなかったな  
先頭にならんで良くなかったかな  
じゅんばんがあつたのかな  
きまりではないのに

お母さんの横顔を見て  
考えるよし子(絵)

ならんでいる人  
ならんでいたのに。  
じゅんばんぬかしたな

お母さんに、連れ戻されるよし子(絵)

どうして？ 一番に乗れないかも  
お母さんのせいですわれない

軒下で待っている  
よし子たち(絵)

今なら一番に乗れる すわりたい  
ぬれたくない おみやげをぬらしたくない

社会のきまりは何のため  
まわりの人のため、気持ちよく過ごすため  
みんなが気持ちよく生活するとは、どういうことか考えよう。

【準備物】

- 教師：教科書，ワークシート，挿絵
- 児童：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

